

事務事業名		町道・歩道・駐車場等維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 平成	不明	年度から年度まで	
所属部門	建設都市整備課 土木維持係			課長名	橋本 直樹		担当者名 内線番号	本保 隆之 内線 (424)		
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	2	3	町道・歩道・駐車場等維持管理事業
	施策名	道路交通環境の整備				一般	7	4	2	町道・歩道・駐車場等維持管理事業

法令根拠 道路法第16条

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 町道・歩道・駐車場を安全に使用するための維持管理事業であり、町道草刈、清掃、区画線、標識、スノーボール、防雪柵、橋梁等の維持管理。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>維持補修実施件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	維持補修実施件数	件	②			③		
名称		単位													
①	維持補修実施件数	件													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町道、歩道、駐車場、橋りょう等の公共土木施設		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>道路延長</td><td>km</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	道路延長	km	②			③		
名称		単位													
①	道路延長	km													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ライフラインである町道、歩道、駐車場及び橋りょうについて適切な維持管理を行うことで安全性の確保や施設の長寿命化を図る。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>維持補修実施率</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	維持補修実施率	%	②			③		
名称		単位													
①	維持補修実施率	%													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 住民への円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、居住環境を確保する。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>公共交通機関の利用に関する町民の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%	②			③		
名称		単位													
①	公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円	7,322,000						
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	11,210,658						
	一般財源	円	153,423,434	141,412,021	148,376,000				
	事業費計(A)	円	171,956,092	141,412,021	148,376,000	0			
	正職員従事人数	人	3	3	4				
人工数(業務量)	年間	1,7289	1,3481						
人件費計(B)	円	14,245,396	10,487,632						
トータルコスト(A)+(B)	円	186,201,488	151,899,653	148,376,000	0				
活動指標	①	件	683	493	500				
	②								
	③								
対象指標	①	km	923	923	923				
	②								
	③								
成果指標	①	%	100	100	100				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	32.9	38.4	50.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 交通量の増加に伴う車・歩行者の安全確保と公共駐車場の確保。 市街地拡大に伴う維持管理路線の増加。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 農産物の生産機械や搬送車両の大型化、車両交通量の増加に伴い、道路の経年劣化箇所への再整備や計画的な修繕、補修が強く求められている。また、道路付属施設等についても経年劣化に伴い機能を発揮できていない施設もあることから計画的な修繕、補修が必要である。今後、道路マスタープランの見直しを踏まえ、道路の持つ役割ごとに道路整備規準を見直すなど、経年劣化に対応した公共土木施設の維持管理を行う必要がある。

事務事業名	町道・歩道・駐車場等維持管理事業	所属部門	建設都市整備課	土木維持係
-------	------------------	------	---------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	道路及び橋りょうは不特定多数の人が利用する公共土木施設であり、町が維持管理を行う責務がある。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	修繕、補修内容により、必要最小限での修繕、補修内容となっている。
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	定期的なパトロールや日常的な維持管理の実施により、未然に事故や大規模な損壊等を防止することができる。
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	交通事故の未然防止及び河川増水による居住及び生産基盤への被害の防止の観点から、廃止及び休止は困難である。
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	芽室町道路施設維持管理業務委託の実施により、業務効率化が図られている。また、公共サービスパートナー制度により町道の清掃及び郊外地道路の交差点の草刈を地域に委託するなど業務の効率化が図られている。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	道路、河川は不特定多数の住民が利用することから、受益や費用負担を求めるものではない。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	平成27年度より道路施設維持管理業務を委託発注し、道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境保全の向上を目指している。本委託業務を実施してから3年が経過し、その間に受託業者と意見交換や情報共有を行ない、業務内容の追加、見直しを実施したことから、業務内における工種については概ね確定したものと考える。 平成28年度に発生した台風10号により被災した道路・橋梁河川災害復旧状況の確認やその他被災した道路に対する安全性の確保を含め、町道・歩道・駐車場などの維持管理していきます。 また、町内における道路網の位置付けのある路線及び交通量の多い路線に対し、路面の性能を回復することを目的とする道路補修工事(オーバーレイ工法)を実施する。	改革・改善実施の方向性 予算増大																				
	2.改革・改善による期待成果	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
31年度以降の取組	道路施設維持管理業務内容(工種)が概ね確定してきていることから、今後は継続的な業務を実施するため、受託業者と密に打合せや定例会を開催し、業務内容を精査することで道路維持管理の徹底化を行ない、事故の防止等円滑な道路交通網の確保を図る。 また、経年劣化に伴う公共土木施設の破損が著しいことから、道路マスタープランの見直しに合わせ、道路網としての幹線等の優先順位を考慮した維持修繕計画を立てていく。																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		町道・歩道・駐車場等除排雪事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 平成	不明	年度から 年度まで	
所属 部門	建設都市整備課 土木維持係			課長名	橋本 直樹	担当者名 内線番号	本保 隆之 内線 (424)			
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	2	3	町道・歩道・駐車場等除排雪事業
	施策名	道路交通環境の整備				一般	7	4	2	町道・歩道・駐車場等除排雪事業

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 町道の通行・安全を確保するための除排雪事業。 除排雪の委託、町道・公共駐車場の除排雪、吹き溜まりの除雪を行っている。	→
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 除雪実施町道・歩道。	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 降雪時に除雪を行ない通行の安全を確保する。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全な通行の確保が図れる。	

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 道路延長	m
② 歩道延長	m
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 除雪道路延長	m
② 除雪歩道延長	m
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 除雪道路率	%
② 除雪歩道率	%
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 冬期間の移動に関する町民の満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (H30年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	69,611,940	99,770,400	51,409,000				
	事業費計(A)	円	69,611,940	99,770,400	51,409,000	0			
	正職員従事人数	人	3	3	4				
	人工数(業務量)	年間	0.2324	0.3016					
人件費計(B)	円	1,914,877	2,346,317						
トータルコスト(A)+(B)	円	71,526,817	102,116,717	51,409,000	0				
活動指標	①	m	945,560.85	922,700.00	922,700.00				
	②	m	109,739.18	109,739.18	109,739.18				
	③								
対象指標	①	m	672,582.32	666,300.00	666,300.00				
	②	m	71,988.80	72,200.00	72,200.00				
	③								
成果指標	①	%	71.11	72.21	72.21				
	②	%	65.60	65.79	65.79				
	③								
上位成果指標	①	%	45.9	47.9	60.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 交通網の発達による冬期間の安全確保のため	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 町道の安全確保のため、迅速に除排雪を行う必要がある。また、除排雪に関する町民からの要望が多様化・増加傾向にある。
---	--

事務事業名	町道・歩道・駐車場等除排雪事業	所属部門	建設都市整備課	土木維持係
-------	-----------------	------	---------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 町民・道路利用者から早期除雪、吹き溜まり、間口除雪の要望や交差点が見にくい等の苦情が多数寄せられている。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 町道・公共施設は町が管理しており、冬期間の円滑な通行と安全確保に努める必要がある。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 道路の通行・安全の確保が困難になり、交通事故の多発、交通渋滞、緊急車両等の通行に支障が出る。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 冬期間の道路の安全な通行を確保するためには、除雪時間を縮減することは困難である。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 町道・公共施設は不特定多数の町民が利用するため、税金による負担は適切である。	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 通勤・通学時間に除雪が間に合うよう降雪状況に合わせて、直営と委託業務により、きめ細かい除雪を行うとともに、除雪開始時間の調整等の柔軟な対応を行う。 また、近年は除雪業務委託期間前に降雪による除雪作業が発生していることから、今年度より委託開始を1ヶ月前倒し、11月から実施する。	改革・改善実施の方向性																						
		業務改善	2.改革・改善による期待成果																					
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

31年度以降の取組	町民からの要望、要求に対応すべく、委託業務の拡大の有無を検討していく。
-----------	-------------------------------------

※町民等の意見・要望に対する検討結果
除雪出勤時間の適正判断を行なうとともに、交差点除雪及び排雪の徹底を図る。また、間口除雪については、検討の結果、実施は困難であるという結論を出していることから、苦情対応の際に説明を行なっている。

事務事業名		道路・河川パトロール事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 平成	不明	年度から 年度まで	
所属 部門	建設都市整備課 土木維持係			課長名	橋本 直樹		担当者名 内線番号	本保 隆之 内線 (424)		
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	1	1	道路・河川パトロール事務
	施策名	道路交通環境の整備				予算上の事業名				

法令根拠 | 道路法第16条

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 道路・河川の状況把握(パトロール)により、住民の円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全並びに住居環境の確保を図るため、道路と河川のパトロールを実施する。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>パトロール回数(週)</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	パトロール回数(週)	回	②			③		
名称		単位													
①	パトロール回数(週)	回													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 町道及び普通河川における公共土木施設等		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>パトロール道路数</td><td>路線</td></tr> <tr><td>②</td><td>パトロール河川数</td><td>条</td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	パトロール道路数	路線	②	パトロール河川数	条	③		
名称		単位													
①	パトロール道路数	路線													
②	パトロール河川数	条													
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 定期的なパトロールの実施により、道路、河川の現状を把握し、道路、河川利用者の公共土木施設等における第三者被害を未然に防ぐ。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>パトロール回数(週)</td><td>回</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	パトロール回数(週)	回	②			③		
名称		単位													
①	パトロール回数(週)	回													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 住民への円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、居住環境を確保する。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>公共交通機関の利用に関する町民の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%	②			③		
名称		単位													
①	公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	797,995	980,159	726,000				
	事業費計(A)	円	797,995	980,159	726,000	0			
	人件費	人	3	3	4				
正職員従事人数	年間	0.4596	0.3099						
人工数(業務量)	円	3,786,907	2,410,887						
人件費計(B)	円	4,584,902	3,391,046	726,000	0				
トータルコスト(A)+(B)	円	4,584,902	3,391,046	726,000	0				
活動指標	①	回	1	1	1				
	②								
	③								
対象指標	①	路線	592	592	592				
	②	条	8	8	8				
	③								
成果指標	①	回	1	1	1				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	32.9	38.4	50.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 住民の円滑な道路交通網の確保、河川環境の保全及び居住環境の確保を図るため。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 農産物の生産機械や搬送車両の大型化、車両交通量の増加に伴い、道路の経年劣化箇所への再整備や計画的な修繕、補修が強く求められている。また、道路付属施設等についても経年劣化に伴い機能を発揮できていない施設もあることから計画的な修繕、補修が必要である。

事務事業名	道路・河川パトロール事務	所属部門	建設都市整備課	土木維持係
-------	--------------	------	---------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的 妥当性 評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	道路及び河川は不特定多数の人が利用する公共施設であり、町が維持管理を行う責務がある。
有効性 評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	定期的なパトロールや日常的な維持管理の実施により、未然に事故や大規模な損壊等を防止することができる。
効率性 評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	定期的なパトロールや日常的な維持管理の実施により、未然に事故や大規模な損壊等を防止することができる。
公平性 評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	交通事故の未然防止及び河川増水による居住及び生産基盤への被害の防止の観点から、廃止及び休止は困難である。
公平性 評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	芽室町道路施設維持管理業務委託の実施により、業務効率化が図られている。
公平性 評価	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	道路、河川は不特定多数の住民が利用することから、受益者負担や費用負担を求めるものではない。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度 の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	平成27年度より道路施設維持管理業務委託を発注し、道路及び河川のパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び河川環境保全の向上を目指している。委託業務を実施してから3年が経過し、その間に受託業者と意見交換や情報共有を行ない、業務内容の追加、見直しを実施したことから、業務内における工種については概ね確定したものとする。 平成28年度に発生した台風10号により被災した河川災害復旧状況の確認や安全性などについても注視していきます。 また、大雨・地震といった災害時における緊急を要する道路及び河川パトロールについても道路施設維持管理業務受託業者と調整を図ります。	改革・改善実施の方向性 予算増大 目的絞込 2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
			コスト																					
削減			維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
31年度 以降の取組	平成29年度に追加した業務について検証し、継続して町と道路施設維持管理組合で週間ミーティング、定例会を行い、業務における情報共有を図り、定期的なパトロールの実施により道路・河川の現状を把握し公共土木施設等における第三者被害の防止や円滑な道路交通網の確保と河川環境の保全を行います。 平成28年度に発生した台風10号により被災した河川災害復旧状況の確認や安全性などについても注視していきます。 また、災害等の緊急時の道路及び河川パトロールの強化と迅速な対応を実施できるような体制の構築を図る。																							

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		横断歩道橋維持管理・除排雪事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 平成	不明	年度から 年度まで	
所属 部門	建設都市整備課 土木維持係			課長名	橋本 直樹		担当者名 内線番号	本保 隆之 内線 (424)		
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	4	2	横断歩道橋維持管理・除排雪事業
	施策名	道路交通環境の整備				予算上の事業名				

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 巡回警備は1日3回、歩道橋、エレベーターは1日1回、ガラス清掃は年2回委託、エレベーター点検は月1回の遠方監視の委託、除排雪作業の委託	→	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 不特定多数の通行人、車いす利用者及びJR北海道旅客等車両		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行		7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行		8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称		単位
①	清掃回数	回
②		
③		
名称		単位
①	道路利用者(町民)	人
②		
③		
名称		単位
①	通行止日数	日
②		
③		
名称		単位
①	公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	1,654,635	1,765,861	2,399,000				
	事業費計(A)	円	1,654,635	1,765,861	2,399,000	0			
	正職員従事人数	人							
人工数(業務量)	年間	0.0172	0.0684						
人件費計(B)	円	141,721	532,122						
トータルコスト(A)+(B)	円	1,796,356	2,297,983	2,399,000	0				
活動指標	①	回	365	365	365				
	②								
	③								
対象指標	①	人	18,809	18,660	18,660				
	②								
	③								
成果指標	①	日	0	0	0				
	②								
	③								
上位成果指標	①	%	32.9	38.4	50.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 高齢化が進み歩行者及び車イスが増え、利用者は増加する。
---	---

事務事業名	横断歩道橋維持管理・除排雪事業	所属部門	建設都市整備課	土木維持係
-------	-----------------	------	---------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	不特定多数の人が利用する公共施設であり、町が維持管理を行う必要がある。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	横断歩道橋の維持管理であり、適正である。
効率性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	巡回警備の回数を増やすことで、成果の向上が期待
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	快適性、安全性の確保ができなくなる
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	めむろ一どの清掃及び巡回警備を受託している業者と随意契約し、経費の節減が図られている。また、エレベーターの保守点検は、指名競争入札を行っているので事業費の削減はできない。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	横断歩道橋等は不特定多数の町民が利用することから、受益者負担や費用負担を求めるものではない。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性 予算増大 目的拡充																				
	駅東跨線橋の清掃及び警備、エレベーター保守点検は「めむろ一ど」及び駅舎と一体化した管理委託を行っており、巡回警備の回数を増やすことで、成果の向上が期待できる	2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
31年度以降の取組	平成30年度同様「めむろ一ど」及び駅舎と一体化した管理委託を行う。 駅東跨線橋のエレベーターは平成11年に施工されたものであり、平成31年で20年経過となる。25年経過を目途にエレベーターの制御盤等の部品が製造中止となることから、更新計画を立てる。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		街灯維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 平成	不明	年度から 年度まで	
所属 部門	建設都市整備課 土木維持係			課長名	橋本 直樹		担当者名 内線番号	本保 隆之 内線 (424)		
総合 計画 体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算 科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	2	3	街灯維持管理事業
	施策名	道路交通環境の整備				一般	7	4	2	街灯維持管理事業

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 市街地・郊外地における照明灯の球切れ等の修繕及び照明灯の改築工事を実施する。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 修繕対象街灯設置数	
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 定期的なパトロールの実施により球切れ等の現状を把握し、適切な修繕を行うことにより、道路利用者の事故を未然に防止するなど安全性を向上させる。	
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 市街地や郊外地の公共土木施設付近(橋りょう)や局部照明の設置により、事故が減少し、道路利用者の夜間における安全性が確保される。	

名称	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

名称	単位
① 修繕発注件数	件
②	
③	

名称	単位
① 道路利用者(町民)	人
② 修繕発注電球数量	個
③	

名称	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	74,808,651	80,468,696					
	事業費計(A)	円	74,808,651	80,468,696	0	0			
	人件費	人							
正職員従事人数	年間		0.3529	0.1953					
人工数(業務量)	円		2,907,745	1,519,349					
人件費計(B)	円		2,907,745	1,519,349					
トータルコスト(A)+(B)	円		77,716,396	81,988,045	0	0			
活動指標	①	件	48	43	45				
	②								
	③								
対象指標	①	件	48	43	45				
	②								
	③								
成果指標	①	人	18,809	18,660	18,660				
	②	個	841	566	566				
	③								
上位成果指標	①	%	32.9	38.4	50.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 照明灯の機能を保持することにより、道路利用者の夜間通行の安全性を確保する。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 市街地や郊外地の公共土木施設付近(橋りょう)や局部照明の設置により、事故が減少傾向にあり、道路利用者の夜間安全性が確保される。 「省エネルギー化」や「長寿命化」に対応できる照明灯具の設置、ランプ取替が必要であり、現在、北電柱等への添架により事業費の軽減を図っている。
--	--

事務事業名	街灯維持管理事業	所属部門	建設都市整備課	土木維持係
-------	----------	------	---------	-------

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望 この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 ・照明灯がついていないので確認してください。	<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない
	※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 町道の安全性を確保するため、照明灯の設置は道路管理者である町が行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 既存照明灯の維持管理であり実態にあっている。
有効性評価	3.成果の向上余地 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 2か月に1回の定期的な夜間パトロールにより、球切れを早期に発見することができる。	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 交通安全上の観点からも町民の理解が得られない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 照明の倒壊・破損修理や球切れが発生した場合、安全性を考慮すると迅速な対応が必要であるため、削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 不特定多数が利用する道路付属施設であり、受益者負担や費用負担を求める事業ではない。	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 照明灯は年々老朽化していることから省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行うとともに、電柱への添架等により事業費の軽減を図る。また、ランプについては、省エネ効果の高いセラミック電球や長寿命化ナトリウム電球に取り換えを行い、倒壊等の恐れのある照明柱は撤去し、新たに電柱に照明灯具を添架する。	改革・改善実施の方向性 予算増大																					
	31年度以降の取組 照明灯は年々老朽化していることから省エネや長寿命化を図るためLEDへの改築工事を行うとともに、電柱への添架等により事業費の軽減を図る。また、ランプについては、省エネ効果の高いセラミック電球や長寿命化ナトリウム電球に取り換えを行い、倒壊等の恐れのある照明柱は撤去し、新たに電柱に照明灯具を添架する。	2.改革・改善による期待成果	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

・照明灯が消えているので確認してください。
→連絡をいただいた後、修繕発注し対応しています。